

各支部報告

岐阜市支部

前島 久恵

◆テーマ

主体的に社会の形成に参画する力を育てる
社会科教育

◆本年度の活動内容

- 6月:第1回校外研修
3ブロックに分けての研究授業・授業研究会
- 8月:第2回校外研修
岐阜県図書館にて地図研修
- 10月:第3回校外研修
8ブロックに分けて小中合同の研究授業・授業研究会

◆本年度のまとめ

ICT を活用しながら、生徒が価値判断する場面を設定したり、自分の考えがどのように変化したのかを明らかにさせたりすることで、個人内の価値形成につなげることができた。

羽島市支部

堀田 恭平

◆テーマ

主体的に社会の形成に参画する力を育てる
社会科学学習

◆本年度の活動内容

- 6月:第1回研究会
授業者:羽島中央中学校 新井 拓海 教諭
2年地理「中部地方」
- 11月:第2回研究会
授業者:竹鼻小学校 後藤 理沙 教諭
5年社会「自動車をつくる工業」
授業者:竹鼻小学校 今田 洋平 教諭
6年歴史「江戸幕府と政治の安定」

◆本年度のまとめ

課題意識をもって、スクランブル交流や主体的な探究学習活動を積極的に取り入れることで、誰とでもどんな場面でも関わり合える力を養った。また自分の考えをロイロノートに記入するだけでなく、他者にアウトプットする活動を行って、自分の意見や考えに自信をもつことができるような、授業の工夫を考え進めることができた。

各務原市支部

小畑 浩司

◆テーマ

主体的に社会の形成に参画する力を育てる
社会科学学習

◆本年度の活動内容

- 6月:第1回研究会
授業者:鵜沼中学校 早矢仕 航平 教諭
3年歴史「第二次世界大戦と日本」
- 8月:第2回研究会
各務原市の歴史について、各務原市歴史民俗資料館の方による研修
- 11月:第3回研究会
各務原市公会堂発表校、社会科部会に参加

◆本年度のまとめ

主体的に授業で学び合う生徒を育成するために各学校で実践を積み重ねてきた。単元における単位時間の役割を明確にし、一単位時間をどうデザインしていくかを授業者が明確にもって授業を展開していくことの大切さを実感できた。

山県市支部

曾我 幸正

◆テーマ

主体的に社会の形成に参画する力を育てる
社会科学学習

◆本年度の活動内容

- 10月:第2回研究会
授業者:伊自良中学校 岩本 昂大 教諭
2年歴史「欧米における近代化の進展」

◆本年度のまとめ

教師の本質的な問いをもとに、生徒が各単位時間において学級で考えたい問いをそれぞれつくる活動を構想し、研究を進めた。
生徒が社会的事象を自分事として捉え、問いが解決できるような指導の在り方を模索した。その過程を通して、生徒の実態分析が欠かせないことや生徒自身が問いそのものを再考することが主体性を高めるために必要だと学び合うことができた。

瑞穂市支部

花岡 隼矢

◆テーマ

主体的に社会の形成に参画する力を育てる
社会科学習

◆本年度の活動内容

6月:第1回研究会

授業者:穂積小学校 佐藤 拓見 教諭

6年地理「わたしたちのまち みんなのまち」

10月:第2回研究会

授業者:穂積北中学校 鈴木 伸一 教諭

3年公民「地方自治と私たち」

◆本年度のまとめ

単元を通して児童生徒につけたい力を明確にもち、児童生徒は本時の課題を理解して、主体的に探究活動をすることができた。

また、学び合いを深めるために、教師がさまざまな資料を準備し、児童生徒は多くの選択・判断を繰り返しながら、課題追究に向かうことができた。

本巣・北方支部

松原 亨介

◆テーマ

主体的に社会の形成に参画する力を育てる
社会科学習

◆本年度の活動内容

6月:第1回研究会(岐阜市教研の参加)

授業者:南学園 川井 英嗣 教諭

5年社会「高い土地のくらし」

11月:第1回研究会(北学園公表会)

授業者:北学園 野中 隆弘 教諭

5年生社会「これからの工業生産とわたしたち」

◆本年度のまとめ

児童生徒が身近な事象を自分事として捉えることができるように、個別最適な学びの工夫や学びを実感する振り返りの場面の工夫に力を入れた。また、その中で協働的な学びを取り入れながら、学ぶ楽しさを実感しながら、授業に取り組むことができた。

羽島郡支部

山田 雅史

◆テーマ

主体的に社会の形成に参画する力を育てる
社会科学習

◆本年度の活動内容

6月:第1回研究会

授業者:岐南中学校 今井 健太 教諭

単元名:「独立の回復と55年体制」

10月:第2回研究会

授業者:東小学校 森崎 朝 教諭

単元名:「店ではたらく人」

◆本年度のまとめ

どちらの研究会においても、資質・能力を育成するためにはどのように社会的な見方・考え方を働かせるべきなのかを学びあうことができた。また、岐南中学校の実践においては、歴史的な分野における価値形成はどのようになされるべきかを考えることができた。

大垣市支部

早野 和彦

◆テーマ

主体的に社会の形成に参画する力を育てる
社会科学習

◆本年度の活動内容

6月:第1回研究会

授業者:赤坂中学校 田鳥 成美 教諭

3年歴史「現代の日本と私たち」

10月:第2回研究会

授業者:西部中学校 曾根 章 教諭

1年地理「北アメリカ州」

◆本年度のまとめ

県の研究主題を受け、「価値に関する認識を形成する授業モデルの構想・提案」を行った。歴史・地理分野ともに、探求課題に対し、既習事実と関連付けた自分の考えを仲間と交流し、自分の考えを再構築する授業を行い、授業展開の工夫について学び合うことができた。

海津市支部

種田 佳文

◆テーマ

主体的に社会の形成に参画する力を育てる
社会科学学習

◆本年度の活動内容

6月:第1回研究会

授業者:下多度小学校 今井 愛梨 教諭
5年生社会「あたたかい土地の暮らし」

10月:第2回研究会

授業者:平田中学校 矢神 龍輝 教諭
3年生公民「現代の民主政治と社会」

◆本年度のまとめ

タブレット端末を活用した個人の追究活動と、グループでの対話的な学習機会を適切に組み合わせることで、生徒一人一人の思考やペースに応じた「個別最適な学び」の場が確保されていた。

今後は、社会の課題を自らの課題として捉え直すような、より「主体的な学び」を求めていく。

養老郡支部

柳瀬 陽一

◆テーマ

主体的に社会の形成に参画する力を育てる
社会科学学習

◆本年度の活動内容

4月:第1回教科研究会 研究組織・内容の検討

6月:第2回教科研究会

授業者:笠郷小学校 伊藤 圭吾 教諭
5年「寒い土地の暮らし」

11月:第3回教科研究会

授業者:東部中学校 羽木 雄亮 教諭
3年公民「地方自治と私たち」

◆本年度のまとめ

論点を整理し、立場を変えて考えさせることで、話し合いに積極的に参加し、考えを深める姿が見られた。現代社会の今日的な課題を取り上げることで、交流の必然性を生み出し、主体的な活動をさらに大切にする授業づくりをしていく。

不破郡支部

高畑 勇介

◆テーマ

「ふるさと不破」の一員(「不破の子」として主体的に社会の形成に参画する力を育てる社会科学学習

◆本年度の活動内容

6月:第1回授業研究会(小中合同)

授業者:関ヶ原中学校 河瀬 敦子 教諭
1年地理「人々の生活と環境」

11月:第2回授業研究会(小中合同)

授業者:東小学校 原川 海翔 教諭
5年「自動車をつくる工業」

◆本年度のまとめ

単元や単位時間の指導を通して、児童・生徒の社会の形成に参画する力を育てるための指導内容・方法に焦点をあて、小中合同で研究を進めた。価値に関する認識を形成する授業(選択・判断)において、授業を開発する上で選択判断する必要があるか考えることや、確かな事実に関する認識を獲得する土台の重要性について積極的に学び合うことができた。

安八郡支部

安田 彩夏

◆テーマ

主体的に社会の形成に参画する力を育てる
社会科学学習

◆本年度の活動内容

5月:研究テーマ,組織,年間計画の検討

6月:第1回研究会

授業者:登龍中学校 竹中 健 教諭
3年歴史「戦後日本の出発」

12月:第2回研究会

授業者:仁木小学校 水野 湧太 教諭
4年社会「きょう土の発展につくす」

◆本年度のまとめ

単位時間につけたい見方や考え方を明確にすることの重要性を、改めて認識した。意図的に1時間の内容を知識・技能と思考・判断・表現に分けることで、表面的な資料の読み取りではなく、既習事項を生かした深い対話につなげることができた。

揖斐郡支部

國枝 絹太郎

◆テーマ

主体的に社会の形成に参画する力を育てる
社会科指導

◆本年度の活動内容

4月:研究テーマ,組織,年間計画の検討

6月:第1回研究会

授業者:揖東中学校 玉腰 啓裕 教諭

2年歴史「近世の日本」

10月:第2回研究会

分野別での実践交流

◆本年度のまとめ

研究授業では,学びの共同体の授業形態を取り入れた授業を提案していただき,生徒が主体的に学び合う環境を創る大切さを学び合った。

分野別での実践交流を通して,個別最適な学びと協働的な学びの二つを実現するための方策について研究を進めることができた。

関支部

永田 裕太郎

◆テーマ

主体的に社会の形成に参画する力を育てる
社会科学習

◆本年度の活動内容

6月:第1回研究会

授業者:津保川中学校 加藤 圭一 教諭

2年歴史「近世の日本」

10月:第2回研究会

授業者:桜ヶ丘中学校 旧井 佑樹 教諭

2年歴史「開国と近代日本の歩み」

◆本年度のまとめ

令和8年度県大会に向けて,昨年度に引き続き単元構造図を用いた単元指導計画の工夫や,事実認識をもとにした価値判断の授業展開に焦点を当てて研究を進めた。また,歴史的分野と公民的分野の接続について,関支部での話し合いを重ね,積極的に学び合うことができた。

美濃市支部

前田 佳洋

◆テーマ

主体的に社会の形成に参画する力を育てる
社会科学習

◆本年度の活動内容

6月:第1回研究会

授業者:大矢田小学校 河野 立 教諭

4年「ごみのしよりと利用」

8月:夏季ゼミへ参加

9月:第2回研究会

授業者:美濃中学校 芝田 大樹 教諭

2年地理「地域の在り方」

◆本年度のまとめ

授業研究会を通して,研究テーマである「主体的に社会の形成に参画する力を育てる社会科学習」を意識して,研究内容である事実認識と価値認識の関連を明らかにする実践の研究ができた。

令和8年度に実施される県中社美濃地区大会に向けて,主張点を明らかにすることができた。

郡上市支部

清水 紀克

◆テーマ

主体的に社会の形成に参画する力を育てる
社会科学習

◆本年度の活動内容

6月:第1回研究会

授業者:郡南中学校 足立 幸亮 教諭

2年地理「中部地方」

10月:第2回研究会

授業者:八幡中学校 上杉 高広 教諭

2年歴史「開国と近代日本の歩み」

11月:第3回研究会

授業者:白鳥中学校 伊地田 泰真 教諭

3年公民「地方自治と私たち」

◆本年度のまとめ

美濃大会を来年度に控え,県の研究内容の具現を目指して実践を進めた。特に,歴史的分野における価値形成と,公民的分野における集団の合意形成に焦点を当てて活発な議論を交わした。

美濃加茂市・加茂郡支部

前田 翔平

◆テーマ

主体的に社会の形成に参画する力を育てる
社会科学学習

◆本年度の活動内容

6月:第1回研究会

授業者:川辺町立川辺中学校 大井 亮汰 教諭

3年公民「現代社会の特色と私たち」

11月:第2回研究会

授業者:美濃加茂市立西学校 若尾 一平 教諭

1年地理「北アメリカ州」

◆本年度のまとめ

単元における単位時間のつながりを明確にしなが
ら、必要な知識や概念を身に付けさせていくた
めの教師の手立てに焦点をあて、美濃加茂市と加
茂郡合同で研究を進めた。

教師がねらいに到達するための迫り方やその内
容について積極的に学び合うことができた。

可児市支部

中島 雷基

◆テーマ

主体的に社会の形成に参画する力を育てる社会
科学学習

～認識を深める工夫を通して、公民としての資
質・能力の基礎を育む～

◆本年度の活動内容

6月:第1回研究会

授業者:蘇南中学校 久保 岳士 教諭

3年公民「冷戦と日本の発展」

11月:第2回研究会

授業者:東可児中学校 石井 雅大 教諭

3年公民「地方自治と私たち」

◆本年度のまとめ

時事的・地域的な問題を取り扱った授業、自由
進度学習の手法を取り入れた授業が実践され、す
べての部員にとって学びになる先駆的な実践であ
った。生徒の思考を深めるために、既習事項と関
連付けたり、ICT 機器を適切に活用したりするな
ど、生徒の個別最適な学びにつながる教師の手立
てについて考え、実践を積み重ねていくことが肝
要である。

可児郡支部

浅野 ひかる

◆テーマ

社会認識を広げたり、深めたりして、主体的により
よい社会の形成に参画する力を育てる社会科学
学習

◆本年度の活動内容

6月:第1回研究会

授業者なし 案内:上之郷中学校 志知教頭

舳五山茶の実践例より、地域教材の開発方法
や生かし方を学ぶ。

10月:第2回研究会

授業者:上之郷中学校 松本 和也教諭 中1

地理「世界の諸地域 南アメリカ州」

◆本年度のまとめ

単元や単位時間の指導を通して、児童・生徒が
意欲的に学ぶ資料・学習過程の工夫に焦点をあ
て、小中合同で研究を進めた。

少人数での社会科の学習の行い方や教科書の
事柄と現代社会の事柄を結びつけるための資料
の提示の仕方について積極的に学びあうことがで
きた。

多治見市支部

森田 悠介

◆テーマ

主体的に社会の形成に参画する力を育てる
社会科学学習

◆本年度の活動内容

6月:第1回研究会

帝国書院の方をお招きした授業研究会

9月:第2回研究会

授業者:陶都中学校 川野 優 教諭

1年地理:「アジア州」

◆本年度のまとめ

6月:本市は今年度から帝国書院の教科書を使用
している。帝国書院の方をお招きし、デジタル教科
書を用いた見方・考え方を広げる授業実践を検討
した。

9月:生徒たちは複数の資料を仲間と協働して読
み取り学びが広がった。今後、交流の在り方を検
討していきたい。

土岐支部

河合 暁良

◆テーマ

主体的に社会の形成に参画する力を育てる
社会科学習

◆本年度の活動内容

6月:第1回研究会

授業者:泉中学校 橋本 壮平 教諭
3年歴史「現代の日本と私たち」

11月:第2回研究会

授業者:肥田中学校 土井 慈雄 教諭
2年地理「日本の諸地域」

◆本年度のまとめ

事実に関する認識を獲得する授業ではあるが、
価値に関する認識を形成する授業の思考過程に
類似した接続の授業の実践を行うことができた。

知識・技能の授業で社会的な見方や考え方を
身に付けさせたいうえで、認識の獲得や形成を
図っていくことが重要であることを再認識することが
できた。

瑞浪市支部

河田 佳則

◆テーマ

主体的に社会の形成に参画する力を育てる
社会科学習

◆本年度の活動内容

7月:第1回研究会

授業者:瑞浪北中学校 伊佐地 奈々 教諭
3年公民「現代社会の特色と私たち」

11月:第2回研究会

授業者:稲津小学校 吉田 睦 教諭
4年「郷土の発展につくす」

◆本年度のまとめ

・生徒が考えた少子高齢化対策について、市の
HPなどを活用しながら自分の考えた解決策を吟
味する場を設けたことで、生徒が主体的に追究す
ることにつながった。また、政策の実現の難しさや
少子高齢化を解決していく上で多様な諸問題と
向き合う必要があることに気付く姿が見られた。

恵那市支部

山岡 啓人

◆テーマ

主体的に社会の形成に参画する力を育てる
社会科学習

◆本年度の活動内容

6月:第1回研究会

授業者:上矢作中学校 米満 和貴 教諭
3年歴史「冷戦と日本の発展」

11月:第2回研究会

授業者:岩邑中学校 伊藤 文彬 教諭
2年地理「東北地方」

◆本年度のまとめ

与えられた資料だけではなく、追加資料を教室
の後ろや前に置き、自由に見れるなど、主体性を
引き出すための学習方法の工夫を確かめ合うこと
ができた。また、生徒にとって切実感のある課題の
設定や事実や価値に関する認識を深める場の設
定など、指導方法を学び合うことができた。

中津川市支部

安藤 辰哉

◆テーマ

主体的に社会の形成に参画する力を育てる
社会科学習

◆本年度の活動内容

6月:第1回研究会

授業者:第二中学校 松井 和紀 教諭
3年公民「効率と公正」

10月:第2回研究会

授業者:落合中学校 山田 真誓 教諭
2年地理「中部地方」

◆本年度のまとめ

ICTを活用することにより、どの資料から読み取
ったのか、どの立場の考えなのかが明確になり、
交流の場で効果的であった。生徒に身近な課題を
取り上げることで目的意識をもたせ、交流が活発
になっていった。

課題としては、生徒が語る力を付けるために、
身近な題材だけでなく、自分の力で見つけ考えら
れるよう資料の環境調整を行い、自己肯定感を高
めていく必要がある。

高山市支部

中本 貴広

◆テーマ

主体的に社会の形成に参画する力を育てる
社会科学習

◆本年度の活動内容

6月:第1回研究会

授業者:中山中学校 田口 唯 教諭
2年地理「日本の地域的特色」

8月:「飛騨の糸引き工女」の足跡を辿る

フィールドワーク, 講義(飛騨市河合町にて)

11月:第2回研究会

授業者:日枝中学校 土師 唯我 教諭
2年歴史「近代産業を支えた飛騨の工女達」

◆本年度のまとめ

研究テーマを具現化するため, 生み出したい姿を明確にし, 指導内容を工夫することができた。また, 郷土教材を取り扱ったことが生徒の意欲を高めることにつながった。

飛騨市支部

小野 有輝

◆テーマ

よりよい社会の実現を目指す子が育つ
社会科学習

◆本年度の活動内容

6月:第1回授業研究会(小中合同)

授業者:古川西小学校 田中 優佳 教諭
小6年歴史「縄文のむらから古墳のくにへ」

8月:講義

「飛騨みやがわ考古民俗館と交流人口」
飛騨市教育委員会文化振興課 三好清超氏

10月:第2回授業研究会(小中合同)

授業者:古川中学校 片桐 理貴人 教諭
中2年地理「日本の諸地域 東北地方」

◆本年度のまとめ

地域の歴史的な遺跡や, 同年代の人々の営みを教材として扱うことで, 生徒は「自分のこと」として考えることができた。小中合同部会として 9 年間を見通した系統的な学習を進めることができた。

下呂市支部

桂川 博充

◆テーマ

主体的に社会の形成に参画する力を育てる
社会科学習

◆本年度の活動内容

4月:第1回 研究会【方針】

6月:第2回 研究会【研究会】

授業者:萩原北中学校 中島 大志 教諭
1年歴史「日本列島の誕生と大陸との交流」

8月:第3回 研究会【研修会】

「峰一合遺跡と古代の下呂・飛騨」

11月:第4回 研究会【研究会】

授業者:下呂中学校 山北 亮太 教諭
3年公民「地方自治」

◆本年度のまとめ

実体験をもとに議論することで, 学びを自分事とし, 自分と社会との関わりを考えることにつながる。そのための単元構成の重要性を確認できた。